

要 旨

試 験 委 託 者 : 環境省

表 題 : トリクロロ酢酸エチルのオオミジンコ (*Daphnia magna*) に対する
急性遊泳阻害試験

試 験 番 号 : A 0 1 0 4 6 9 - 2

試 験 方 法 :

- 1) 適用ガイドライン: OECD 化学品テストガイドライン No. 202「ミジンコ類, 急性遊泳阻害試験および繁殖試験」(1984年)
- 2) 暴 露 方 式 : 半止水式(24時間後に試験液の全量を交換)
水面をテフロンシートで被覆
- 3) 供 試 生 物 : オオミジンコ (*Daphnia magna*)
- 4) 暴 露 期 間 : 48時間
- 5) 試 験 濃 度 : 対照区, 80.0, 106, 141, 188, 250 mg/L
(設定値) 公比: 1.3
- 6) 試 験 液 量 : 100 mL/容器
- 7) 連 数 : 4 容器/試験区
- 8) 供 試 生 物 数 : 20頭/試験区 (5頭/容器)
- 9) 試 験 温 度 : 20±1℃
- 10) 照 明 : 室内光, 16時間明 (800 lux 以下) / 8時間暗
- 11) 分 析 法 : ガスクロマトグラフィー (GC)

試 験 結 果 :

1) 試験液中の被験物質濃度

被験物質は、水中においてすみやかに消失（半減期 51分, 100mg/L 精製水）することが確認され濃度維持は極めて困難であったため、仕込量の確認として暴露開始時のみ分析を行った。結果の算出には設定値を用いた。

なお、被験物質は水中で加水分解し、その結果としてトリクロロ酢酸とエタノールが生成し、水中のpHが低下したものと推測した。

2) 24時間暴露後の結果

	(mg/L)	95%信頼区間 (mg/L)
半数遊泳阻害濃度 (EiC50)	160	141 ~ 188
最大無作用濃度 (NOECi)	106	—
100%阻害最低濃度	188	—

3) 48時間暴露後の結果

	(mg/L)	95%信頼区間 (mg/L)
半数遊泳阻害濃度 (EiC50)	156	141 ~ 188
最大無作用濃度 (NOECi)	106	—
100%阻害最低濃度	188	—